第１００号　２０２０年３月１日発行　　ＮＰＯ法人・富士山自然学校　℡090-2740-4000

富士山自然学校通信 3・4 月号

【アイスキャンドル祭り】

冬の山中湖畔からダイヤモンド富士が見られる時期に合わせて行われているアイスキャンドル祭は今年で１４回目です。きららで「雪まつり」が始まってからは５回目となります。今回はきららから退去して２回目の取り組みで、レイアウトもほぼ昨年通りとしたため、準備は比較的順調に進めることが出来ました。

１月 20 日のペットボトル・牛乳パック成型作業から準備が始まり、２月１日からは冷凍車を使った大型・中型の氷作りに入りました。当初、大型氷用の冷凍車が故障して冷凍車を入れ替えるアクシデントがあり、冷やっとしましたが、何とか冷凍車の入れ替えをしてもらい予定通りに進みました。

最も大変な作業は、２月８日の牛乳パック 2,200 本の水入れでしたが、15 人の方に参加していただき、天候にも恵まれて例年より順調に終了しました。

２月１５日（土）キャンドル当日

当初、前夜に大雨が降るとの予報で、「原っぱ会場はがぬかるみで使えないのでは」と心配されましたが、数日前には予報が好転し、予定通りに準備が進められました。

午前中、原っぱに７重のサークルを描く準備が進められ、午後からは、準備された 2,200 個のアイスの開封と配列を行いました。開封・配列には昨年同様、ボランティアとしてアメリカ海兵隊の若者も大勢協力してくれました。

気温が高く、氷は溶け気味でしたが、心配された風は穏やかで、夕方には順調に点灯が進みました。今年は、昨年までの紙コップとＬＥＤによるキャンドルが、レンタル業者による色とりどりのガラスカップのキャンドルに代り、湿性花苑も華やかに彩られました。富士山をバックにした花火の打ち上げもきれいでした。（写真は山下さん、高浦さんの提供です）

【野鳥観察会】

２月２６日（水）、当会としては初の試みとして、会員観察会の形で冬季の野鳥観察を行いました。ガイドは高浦さんです。当日は観光協会等からの参加も合わせて１４名が参加しました。

きららから３台の車に分乗し、湖畔沿いにみさきへ向かいます。出発して間もなくＹＭＣＡのところで停車。ＹＭＣＡの林にアオゲラやオナガが飛来していました。平野の浜では湖面を泳ぐオオバンやマガモ、ヒドリガモが見られ、浜辺ではセキレイやセグロセキレイ、対岸のみさきにはカワウが見られました。

みさきではヤドリギを見ていたところ、運よくレンジャクの群れが飛来し、一同歓喜してレンジャクを観察しました。今回はいずれもヒレンジャクだったようです。レンジャクが排泄したねばねばのヤドリギの実が垂れ下がっているのも観察できました。

その後、車で長池親水公園まで移動し、水鳥の観察です。近くを泳ぐオオバンやカワウ、遠くに集団を成しているカンムリカイツブリなどが観察できました。

雲が立ち込め、うす暗く寒い日でしたが、様々な野鳥に出会え、一同満足して解散しました。高浦さん、ありがとうございます。

【４月の予定】

４月６日（月）４月・月例会（会員集会）

開催場所　旭日丘公民館

開始時間　午後１時３０分

新年度の行事予定（エコウォーク・会員観察会など）についてご意見を伺います

＊３月１１日（水）に予定していた「玉宮ザゼンソウと甘草屋敷見学」（会員観察会）は新型コロナウイルス感染対策を考慮して中止とさせていただきます。

また、４月６日の会員集会も延期の可能性があります。